

臨床研究に関する情報の公開

作成日：2026/8/26

研究課題名	自家多血小板フィブリン (PRF) を用いた創部閉鎖の促進と髄液漏および感染の予防
研究の対象	これまでに、当院で経蝶形骨手術を受けられ、髄液瘻予防のため、トルコ鞍底の修復が必要と判断された患者さん。
研究目的	自家多血小板フィブリン (PRF: Platelet Rich Fibrin) は、患者さんの血液から作製される血液製剤である。これらは増殖因子やサイトカインといった成分を含み、傷の治癒や骨及び組織の再生・回復を促し、止血や痛みの軽減、感染の予防に効果があるとされている。整形外科、形成外科、歯科などで広く行われている再生医療である。創部を確実に閉鎖して、髄液漏や感染を予防するため、フィブリン糊や人工硬膜、自家骨膜や脂肪組織を使用する治療方法があるが、それらを PRF と合わせて使用することで、創傷の治癒の促進、創面の裂開のリスクの軽減、またそれらによる治療部位の髄液漏や感染リスクの軽減が期待できる。より確実な創部閉鎖のため、PRF 活用の有用性を検討する。
研究方法	術中に髄液漏や感染予防のため、より確実な創部閉鎖が必要と判断された患者さんが対象である。術中に患者さんの血液を、20ml 採血して、遠心力を利用した分離装置 (遠心分離器) を用い、血液の成分 (赤血球・白血球・血漿など) を分け、PRF を作製する。
研究に用いる試料・情報の項目 (例：血液、検査データ、診療記録等)	① 臨床症状、診療録記録 ② 採血検査結果 ③ MRI や CT など画像検査による腫瘍の形状や脂肪体積の変化
研究期間	2023 年 6 月 1 日～現在研究継続中
外部への試料・情報の提供、取り扱いについて	原則、外部への試料・情報の提供は行いません。医療情報のデータの保管・管理は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。
研究代表者の氏名及び所属する研究機関の名称	北野 昌彦 社会医療法人寿会 富永病院 脳神経外科
研究責任者および試料・情報の管理責任者 (共同研究の場合は研究代表者) の氏名及び所属する研究機関の名称	北野 昌彦 社会医療法人寿会 富永病院 脳神経外科
上記以外の研究機関の名称	
本研究に対するご質問などについて	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
ご質問のお問い合わせ先	社会医療法人寿会 富永病院 脳神経外科 北野 昌彦 〒556-0017 大阪市浪速区湊町 1-4-48 TEL: 06-6568-1601 FAX: 06-66568-1608 Email: mkitano@tominaga.or.jp 研究代表者 北野 昌彦